様式１－１

* 提出時、赤文字は削除してください。

ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実

（ICTを活用した職業教育に関する指導計画・指導法の開発）

事業実施計画書

|  |
| --- |
| 組織名 |
|  |

1. 研究の名称
2. 研究の目的及び目標

|  |
| --- |
| 研究の目的 |
|  |
| 研究の目標 |
|  |

1. 研究の代表者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属 | 役職 |
|  |  |  |

1. 研究の概要等

|  |
| --- |
| 実施事項 |
| ①新たな職域・働き方を見据えた資質・能力の育成を目指す指導計画や実習計画の開発②遠隔で行う職場実習の実施（評価手法の研究開発）③ICT機器やアプリケーションソフトウェアに関する基礎スキルの習得，デジタルコンテンツの作成，遠隔操作による接客など，企業等と連携した新たな職域に関する指導の実践のうち、実施する事項を記入。 |
| 研究概要 |
| 研究の概要について２００字程度で記入する。 |

※ここまでで１ページに収まるようにする。

1. 提案の背景

|  |
| --- |
| 提案の背景（自治体や学校の現状、生徒の実態や課題等）を記載する。 |

1. 研究仮説と期待される生徒の変容

|  |
| --- |
| 研究仮説 |
|  |
| 期待される生徒の変容 |
|  |

1. 研究開発の実施方法

|  |
| --- |
| 作成する指導計画とその実施方法 |
| 年間指導計画や教科指導等の中にどのように位置づけ実施するか記載する。 |
| 生徒の評価方法 |
|  |

1. 研究組織

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 担当者氏名 | 所属・役職等 | 具体的な役割 |
|  |  | 研究代表者 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

1. 研究協力校の一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学校名（ふりがなを付すこと） | 障害種 | 選定理由 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

1. 指導助言組織　※事業に対する指導・助言者を記入する。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 所属・役職等 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

1. ２年間の実施計画（概要）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 実施内容 | 予定経費 |
| 第一年次 | 各年次で実施する内容を箇条書きで記載する。○ | 円 |
| 第二年次 | ○ | 円 |

(1)　年次ごとの研究や評価、会議等の実施内容の概要を述べ、研究の目的や目標がより具体化されるよう配慮すること。

(2)　支出内容と予定経費を記入することで、支出計画が分かるようにすること。

1. 令和３年度の年度目標

|  |
| --- |
| 令和３年度に達成する目標を設定し記載する。 |

1. 令和３年度の実施計画（詳細）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施時期 | 実施内容 |
| ○月 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

　　詳細なスケジュールを作成し、可能な限り月ごとに実施内容を具体的に記入する。

1. 令和３年度の所要経費について

（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 金 額 |  |
| 人　　　　件　　　　費 |  |  |
| 諸　　　　謝　　　　金 |  |  |
| 旅　　　　　　　　　費 |  |  |
| 借 　 損　　　　料 |  |  |
| 印　 刷　 製　 本 　費 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 通　 信 　運 　搬 　費 |  |  |
| 雑　 　役　 務　 　費 |  |  |
|  |  |  |
| 一　 般 　管 　理 　費 |  |  |
|  |  |  |
| 計 |  |  |

 １ 積算にあたっては、事業の内容との関係を十分に考慮すること。

 ２ 「積算内訳」については積算根拠を明確に記載すること。

 ３　「消費税相当額」には、不課税対象経費にかかる消費税相当額を計上すること。

|  |
| --- |
| 組織名 |
|  |

1. 研究者の略歴等（過去５年）

※「８　研究組織」にあげた研究者の略歴や研究実績を記入する。

1. 指導助言者の略歴等（過去５年）

※「１０　指導助言組織」にあげた指導助言者の略歴や研究実績を記入する。

|  |
| --- |
| 組織名 |
|  |

※学校ごとにそれぞれ記載すること。以下の表は記載例であるので、行が不足する場合は追加し、不要な行は消すこと。

1. 研究協力校の概要

○学校名：　　　　　　　　　（ふりがなを付すこと）

（１）教育の対象とする障害種：

（２）設置者

（３）学級数・幼児児童生徒数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 幼児児童生徒数 | 計 |
| 幼稚部 | 小学部 | 中学部 | 高等部 |
| 本科 | 専攻科 |
| 視覚障害 |  |  |  |  |  |  |
| 聴覚障害 |  |  |  |  |  |  |
| 知的障害 |  |  |  |  |  |  |
| 肢体不自由 |  |  |  |  |  |  |
| 病　弱 |  |  |  |  |  |  |
| 重複障害 |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |  |

（４）教職員数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 校(園)長 | 副校長教頭 | 主幹教諭指導教諭教諭 | 助教諭 | 養護教諭養護助教諭 | 講師 | 実習助手 | 事務職員 | 寄宿舎指導員 | 看護師 | その他 | 計 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

２　協力校の特色　※学校ごとに記載。

３　研究歴（過去５年）　※学校ごとに記載。

1. 文部科学省との連絡担当者

（１）組織（団体）

|  |  |
| --- | --- |
| (1)組織名 |  |
| (2)所在地 | 〒 |
| (3)電話番号 | 代表 |  　　　内線 |
| 直通 |  |
| FAX |  |
| (4)担当者 | 所属・職名 |  |
| 氏名 |  |
| メールアドレス | （代表）（担当） |

（２）協力校　※協力校ごとに枝番で記入すること

|  |  |
| --- | --- |
| (1)学校名 |  |
| (2)所在地 | 〒 |
| (3)電話番号 | TEL |  |
| FAX |  |
| (4)学校長 | 氏名 |  |
| (5)担当者 | 職名 |  |
| 氏名 |  |
| メールアドレス | （代表）（担当） |

|  |
| --- |
| 組織名 |
|  |

第三者への再委託に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 再委託の相手方の住所及び氏名 | ※再委託先１カ所につき、この様式１枚を記入。 |
|  |
|  |
| 再委託を行う業務の範囲 |  |
|  |
|  |
| 再委託の必要性 |  |
|  |
|  |
| 再委託金額（単位：円） | ※積算の内訳を記載。 |

様式１－２

**ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実**

**（ICTを活用した職業教育に関する指導計画・指導法の開発）概要**

**研究の名称**

**【組織名】**

【目的】あ

【目標】あ

あ

**研究の内容**

あ

**目的・目標**

作成について

・実施計画書を元に、要点のみをまとめて記入してください。

・枠や文字の大きさは適宜調節していただいて構いません。

・事業の概要がより分かりやすくなるよう、図形などを入れていただいても構いません。

・このテキストボックスは提出するときに削除してください。